

日陰を増やして真夏の日差しをやわらげる、日除け専用のルーバーを使った暑熱対策のパーゴラです。



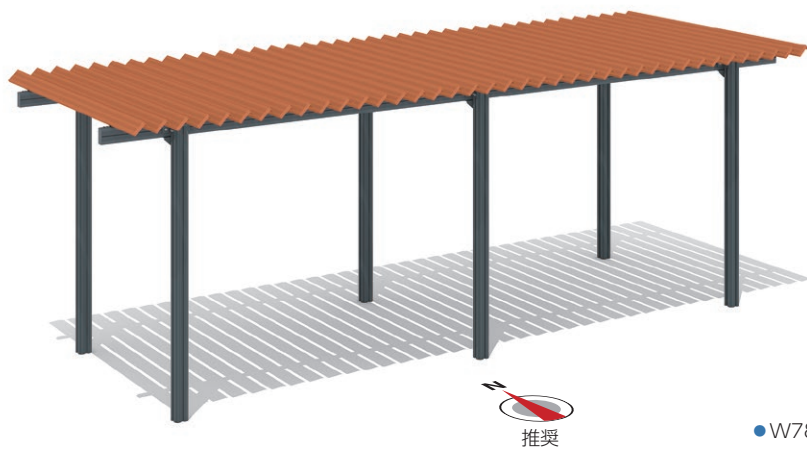
上峰ふれあい公園 発注：さいたま市（埼玉県）

DSA-16DA（オールアルミ） ¥1,780,000+消費税



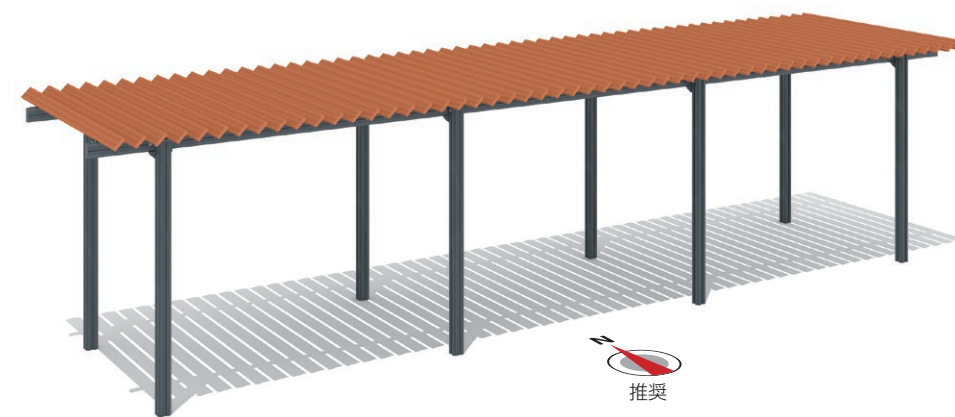
●W4600×D3000×H2625（桁高）
●340kg

DSA-26DA（オールアルミ） ¥2,860,000+消費税



●W7800×D3000×H2625（桁高）
●560kg

DSA-36DA（オールアルミ） ¥3,940,000+消費税



●W11000×D3000×H2625（桁高）
●775kg

DSA-16DA/26DA/36DA 共通仕様

ルーバー▶ アルミ押出形材／アルマイト処理、合成樹脂焼付塗装仕上

桁▶ アルミ押出形材／アルマイト処理、合成樹脂焼付塗装仕上

柱▶ アルミ押出形材／合成樹脂焼付塗装仕上

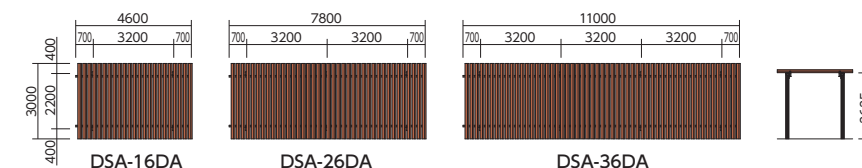
接続金物▶ 鋼材／溶融亜鉛メッキ下地、合成樹脂塗装又はポリ粉体塗装仕上

積雪対応▶ 0.8m以下

※主要部材のルーバー・柱・桁はアルミ製ですが一部接続金物は鋼材となります。

※多雪区域については弊社営業担当にお問い合わせください。

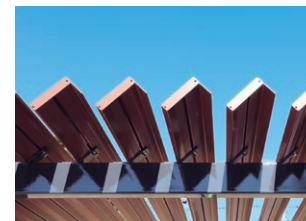
※設計風圧力は基準風速 34m/s、粗度区分Ⅲを基に算出しています。



日除け専用の「シェードルーバー」



適度な隙間で風通しも確保



他の日除け資材が不要

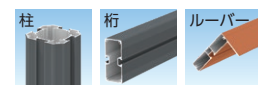


シェードルーバーは長方形の片面に底状のプレート配した形状のアルミ押出形材です。通常のパーゴラと比較して日陰になる面積を増やし、真夏の日差しをやわらげる効果があります。

ルーバーは200mmピッチで設置し、ルーバー同士の平面投影隙間は約40mmとなっています。パーゴラのイメージを残しつつ適度な隙間を確保しているので風通しも良く、屋根に熱が滞留することもないので下部空間を快適にします。

藤等の植物や、よしず等の日除け資材を活用しなくても日除け効果の高さを維持できるので、パーゴラの維持管理が容易になります。

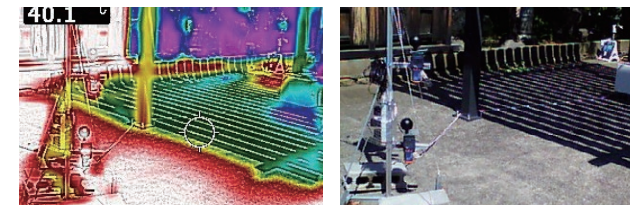
専用のアルミ押出形材



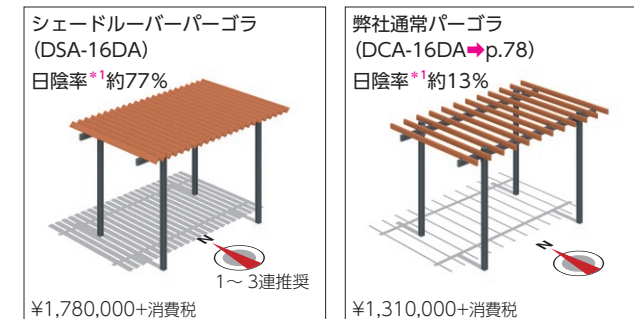
柱・桁・ルーバーにはスマートな外観と安定した品質と高耐久性を保持したアルミ押出形材を使用しています。（▶p.61）

日除け専用ルーバーによる熱中症軽減効果の検証

2018年の夏季に群馬大学大学院理工学府との共同研究で、シェードルーバーパーゴラ下の熱環境測定を行い、パーゴラの日陰による暑熱対策効果を検証しました。その結果、シェードルーバーの日陰で、黒球温度（体感温度に近い温度）の低減やWBGT（熱中症指数）のリスク低減など、複数の効果を確認することができました。（▶p.18）



南中時における日陰の比較



※1連（DSA-16DA）は正面を南向きに設置すると効果的に日陰ができ、日中の日陰の移動による下部空間への日陰全体のかかり具合も長く維持できます。

※連棟（DSA-26DA／36DA）も正面を南向きにして本体が東西方向に長くなるように設置することで、同様に下部空間への日陰全体のかかり具合を長く維持できます。

※1：図中の日陰率は正面を南向きに設置した際の値です。また、日陰率は時間により変動します。